

1. 特集

月-頁

<著作権ガイドライン>

1. 「著作権実務ガイドライン」掲載にあたり 小西 恵 1-19
2. -著作物- コンピューター・プログラムの保護 川崎 仁 1-20
3. -著作物- フォント・タイプフェイスの保護 丸山温道 1-24
4. -著作物- 設計図の保護 峯 唯夫 1-27
5. -著作物- 実用品のデザインの保護 福田雅美 1-31
6. -著作物- 著作者 市村直也 1-39
7. -著作物- 著作者人格権 宮嶋 学 1-43
8. -著作物- 著作権と所有権との関係 板谷康夫 1-48
9. -著作権- 二次的著作物 茂泉修司 1-52
10. -著作権- キャラクターの保護 小林生央 1-57
11. -著作権の制限- 私的使用のための複製 白濱秀二 1-60
12. -著作権の制限- 引用 小野寺隆 1-64
12. -実演家等の氏名・肖像- パブリシティ権 鈴木徳子 1-67

<中国・四国は今！>

1. 特集「中国・四国は今！」にあたって
パテント編集委員会副委員長 佐藤富徳 2-3
2. 四国の知的財産事情 山内康伸 2-4
3. 弁理士過疎県での29年 河野 誠 2-13
4. 鳥取大学における知的財産活動と産官学連携活動 松井孝一 2-16
5. 山口TLOの活動状況と展望について 中嶋和昭 2-25
6. 講演会「商標権と関連する不正競争事件の留意点」 牛田利治 2-29
7. 高知県庁海洋深層水対策室インタビュー
高知県の海洋深層水に対する取り組みについて
高知県庁海洋深層水対策室 2-38

<ソフトウェア>

1. 方法クレームとプログラムの間接侵害
一太郎事件知財高等大合議判決の評釈-
平成17年度日本弁理士会 ソフトウェア委員会 上羽秀敏 4-5
2. 一太郎&花子事件の知的財産高等裁判所判決における「時機に遅れた攻撃防御方法」の該当性判断 増田 守 4-15
3. ソフトウェア開発委託における特許権に関する一考察
-間接侵害、権利帰属等の問題について- 中隈誠一 4-23
4. ソフトウェアビジネス体系の変貌と権利行使の可能性に関する
一考察 -間接侵害適用の可能性について-
平成17年度日本弁理士会 ソフトウェア委員会 第1部会 4-30

<知的財産高等裁判所との座談会>

1. 知的財産訴訟実務の実際 知的財産高等裁判所 5-3

<特許評価>

1. 経営における知的財産と価値創造-価値の流れと発明概念
横浜国立大学大学院国際社会科学部 教授 岡田依里 6-8
2. 特許権の価値評価と評価モデル
東京理科大学総合科学技術経営研究科 知的財産戦略専攻・助教授 鈴木公明 6-14

<実務系委員会の活動報告>

1. 技術標準と日本弁理士会
平成17, 18年度技術標準委員会委員長 加藤 亘 6-24
2. タイ国模倣品対策セミナー講演録
平成17年度産業競争力推進委員会 6-30
3. ソフトウェア業界における収益構造の多様化に対するクレーム
ドラフティングによる対応
平成17年度 ソフトウェア委員会 第1部会 6-38
4. オープンソースソフトウェアのライセンスと特許権
平成17年度 ソフトウェア委員会 第2部会 6-45

<国内における模倣品対策>

1. 税関における知的財産侵害物品の水際取締制度の現状
前 東京税関業務部長 河野泰一 7-3
2. 知的財産情報センター (CIPIC)と知的財産侵害物品の水際取締り
(財)日本関税協会 知的財産情報センター 事務局長 内藤敏雄 7-10
3. 不正競争防止法を用いた模倣品対策
平成18年度不正競争防止法委員会 村西大作 7-17

<商標>

1. 商標委員会との座談会 (第1部) 不使用商標の現状と問題点
平成18年度商標委員会 8-4
2. 商標委員会との座談会 (第2部) 地域団体商標出願が開始されて
平成18年度商標委員会 8-19
3. 拒絶審決取消訴訟中になした出願分割と同時にする補正の効力
平尾正樹 8-47
4. 商標類比に関する考察 飯田幸郷 8-51
5. 最近の審判決例にみる商標法第4条第1項第7号における公序良俗概念 齋藤 整・勝美元博 8-54

<平成17年著作権重要判決紹介>

1. 「2チャンネル」事件 平成18年度著作権委員会 石井茂樹 8-66
2. 「YOL記事見出し」事件 平成18年度著作権委員会 石井茂樹 8-70
3. ビジネスソフト「Webcel」画面表示事件
平成18年度著作権委員会 川崎 仁 8-75

<判例研究>

1. 座談会 判例研究 ~判例の重要性, 学び方とは~ 9-3
2. インタビュー 米国における判例と実務 森 昌康 9-18
3. 米国における特許戦略 -米国での経験から- 日野真美 9-29
4. イーベイ対メルクエクスチェンジ事件がもたらす米国特許訴訟
のパラダイムシフト 土井 悦生・Alex Verbin Chachkes 9-41
5. 特許権はどこまで「権利」か -権利侵害の差止めに関するアメリカ
特許法の新判例をめぐって- 玉井克哉 9-45

<「意匠法等の一部を改正する法律」について>

1. 特集「意匠法等の一部を改正する法律について」にあたって
パテント編集委員会副委員長 田中 勲 10-3
2. 平成18年度改正法に関する全般的な解説 山本 厚 10-4
3. 座談会 意匠法改正について 10-17
4. 改正意匠法24条2項についての疑問 牛木理一 10-35

5. 小売サービスの登録制度の導入について		
-小売業者の商標は何を識別するのか-	古関 宏	10-50

<地域産業活性化のための取り組み(地域産業の実態)>

1. 秋田県の知的財産への取り組み		
	秋田県学術国際部試験研究推進課	11-3
2. 知的財産立県を目指す埼玉県の取組		
	埼玉県産業労働部新産業育成課	11-6
3. 愛知県の知的財産に関する取り組みについて		
-愛知県の産業活性化にむけて-	愛知県産業労働部新産業課	11-10
4. 弁理士の地域活動	杉本勝徳	11-14
5. 長野県における知財への取り組み		
-地域産業と共に生きる弁理士人生-	綿貫隆夫	11-19
6. 石川県における知財への取り組み	大森有平	11-24

<周辺業務の実際>

1. 弁理士のための著作権法FAQ		
	日本弁理士会著作権委員会委員長 中川裕幸	12-8
2. 日本知的財産仲裁センターにおける調停(仲裁)の代理業務について	日本弁理士会 ADR推進機構 小谷悦司	12-35
3. 民事執行における知的財産権価値評価の一事例		
	森 收平・鶴本祥文	12-29
4. 不正競争防止法と弁理士業務	柿内瑞絵	12-21

<判決要約>	1-117, 2-80, 3-66, 4-102, 5-103, 6-105, 7-76, 8-110, 9-90, 10-104, 11-96
判決要約目録(2006年掲載分)	3-70

2. 今月のことば

新役員制度下の常議員会への期待	吉田精孝	2-1
整備される研修環境	幸田全弘	3-1
中小・ベンチャー企業への支援ということ		
-バリアフリーをめざそう-	高橋祥泰	5-1
知財を担う一流の専門家たれ	八木秀人	6-1
農林水産関係の知的財産の創造, 保護, 活用を支援し, 安全で安心な日本の農水産物等を世界に向けて発信しよう!	小川眞一	7-1
新支部愈々動き出す-着実な歩みへ-	松田正道	8-1
弁理士法改正により弁理士制度の更なる充実を!	伊丹 勝	9-1
副会長会務報告	岡部 譲	10-1
日本弁理士会の役員制度	渡邊敬介	11-1
知財ビジネスアカデミー	黒田 壽	12-1

3. 正副会長の活動状況

規制緩和や行政改革等の動きの中での正副の対外活動		
	河野 哲	1-70
2ヵ月を振り返って	岡部 譲	6-23
事業計画とその現状	渡邊敬介	7-27
知財ビジネスアカデミーとコンプライアンス委員会の活動		
	黒田 壽	8-83
4ヵ月を振り返って	高橋祥泰	9-65
他団体からの委託事業の受託とeラーニング用コンテンツの充実		
	八木秀人	10-64

7ヵ月を振り返って	小川眞一	11-26
地域知財及び支部活動	松田正道	12-41

4. インタビュー・座談会

<インタビュー>

「知財管理」誌・パテント誌合同インタビュー		
裁判所手続の実際-裁判官OBへのインタビューを通じて		長沢幸男 1-4
高知県庁海洋深層水対策室インタビュー		
高知県の海洋深層水に対する取り組みについて		高知県庁海洋深層水対策室 2-38
東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻インタビュー		
学融合から始まるバイオ知財人材育成の最前線		東京大学大学院新領域創成科学研究科 3-3
米国における判例と実務	森 昌康	9-18

<講演会>

特許法第102条に基づく損害賠償について		
	早稲田大学大学院法務研究科 教授 高林 龍	1-71
商標権と関連する不正競争事件の留意点		牛田利治 2-29
タイ国模倣品対策セミナー講演録		平成17年度産業競争力推進委員会 6-30

<座談会>

知的財産訴訟実務の実態	知的財産高等裁判所	5-3
商標委員会との座談会(第1部) 不正使用商標の現状と問題点		平成18年度商標委員会 8-4
商標委員会との座談会(第2部) 地域団体商標出願が開始されて		平成18年度商標委員会 8-19
判例研究 ~判例の重要性, 学び方とは~		9-3
座談会 意匠法改正について		10-17

<パネルディスカッション>

東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻		
知的財産インキュベーション戦略分野主催シンポジウムパネルディスカッション		
大学発の技術移転が抱える課題と解決策 -プレーヤーからの提言-		12-42

5. ティー・ブレイク

114. 無知の知		1-77
115. 幸せを運ぶ白い鳥		3-35
116. 職業適齢期		4-40
117. 積み木あそび		5-59
118. 新しい世界		6-69
119. 人間センサ		7-28
120. 告白		8-84

<知恵の話>

9. 歌舞伎文字勘亭流の話	若林 擴	4-86
10. テニスの後で2トン	若林 擴	7-43
11. 発明の進歩性と保護範囲について	浅野勝美	7-75
12. IL MAIALE SAZIO	若林 擴	10-84

6. 私の目指す弁理士像

96. 穂坂 道子	2-79
97. 鈴木 康介	7-42

7. 叙勲・褒章受章者

平成18年度春の叙勲・褒章受賞者	6-3
叙勲者の横顔 梶澤 襄・吉田豊鷹・細井貞行・岩上昇一	6-3
褒章受賞者の横顔 市橋俊一郎・塩川修治・杉本丈夫・黒瀬雅志	6-6
平成18年度秋の叙勲・褒章受賞者	12-3
叙勲者の横顔 田中正治・岡田和喜・岩崎幸邦・池田和美	12-3
褒章受賞者の横顔 川成靖夫・菅 隆彦	12-6

8. 論考

米国技術移転サイクルの提案と検証	
谷治和文・曹 勇・井口泰孝	1-78
韓国特許侵害訴訟における無効の抗弁の許容有無に関する小考	
一韓国における大法院の最新判決を中心に-	金 國鉉 2-58
判例有効活用シリーズ7 「均等論に頼らないための記載考」	
-H17.7.12知財高裁 平成17(ネ)10056から-	仲 晃一 3-14
効果(特性)を請求項に記載することの意義について	
-防汚塗料組成物事件判決から選択発明を考える-	神谷恵理子 3-27
秘密保持命令と秘密意匠の関係	寒河江孝允・矢野俊樹 3-61
優先権主張の効果と特許権の本質	田辺 徹 4-46
判決で学ぶ進歩性判断の定石(その1)(その2)(その3)(その4)	
高瀬彌平	4-68, 7-44, 10-72, 11-46
日米における均等論の比較研究	園部武雄 5-73
液体収納容器(インクタンク)事件, 知財高裁判決を受けての考察	
帖佐 隆	5-77
輸入差止申立制度による知的財産権の保護について	菅野 中 5-85
改良発明に対する複合/部分優先権制度の意義	
-証拠除外効から適及効への解釈の転換-	特許庁審判官 柴田和雄 6-70
明細書再考-その5-「温風暖房機事件」を通して考える-	
保科敏夫	6-94
最近の審決取消訴訟における進歩性判断の傾向(機械分野)(5)(総合考察)	
渡部 温	7-63, 9-66
方法特許に関する訴訟の立証責任	程 永順(著)・劉 鋒(訳) 12-63

9. 解説

知財事件の強制執行についての実務ノート	
-間接強制手続を中心として-	三山峻司 2-61
米国特許商標局による迅速化された処理	
Joseph L.Felber(著)・加藤慎司(訳)	2-69
2005年PCT同盟総会で決定された規則改正について	
-日本のPCT自己指定に関する規則改正その他-	
永岡重幸・藤岡隆浩	3-42
不正競争防止法改正ガイドライン-形態模倣(第2条1項3号)関係-	
不正競争防止法委員会 第一小委員会	3-44
特許英語通信文と英文明細書作成へのガイド(13)	
-米国型英文クレームの作成, 続編-	藤芳 寛治 4-56

不正競争防止法ガイドライン

-周知又は著名な商品等表示(第2条1項1号・2号関係)-	
平成17年度不正競争防止法委員会 副委員長(第一小委員会委員長) 西村雅子	5-31
考察意匠法-依頼内容から考察するデザイン保護-	
平成17年度意匠委員会・業務対応部会	5-49
新しく改正された中国特許審査基準における重要な改正点	
李茂家(著) 魏啓学・劉新宇(翻訳)	8-85
書換七年(その1)	佐久間光夫 9-80
中国でのソフトウェア販売時に特有な諸手続	青木 修 10-65
アメリカ特許訴訟における日本弁理士の秘匿特権	
-Eisai vs Reddy's事件判決に焦点を当てて-	青木 高 11-56
小売サービスマーク登録制度の導入に伴う経過措置について	
浅野勝美	11-63
液晶ディスプレイ-その開発の歴史-	野中勝美 11-82
新制度化における権利無効の抗弁の判決事例一覧表	
(17.4.1~18.7.31)	寒河江孝允 12-71

10. 紹介

関西発, 弁理士と公認会計士の連携について	佐伯 剛 2-50
兵庫県地域結集型共同研究事業の取り組みについて	山口幸一 2-53
秘密保持契約書サンプル版の紹介	大島 厚 3-53
-意匠委員会作成「外国意匠出願マニュアル」をご活用ください-	
平成17年度意匠委員会・国際部	7-29
小学生向け新電子紙芝居「特許ってなあに?」紹介	
羽鳥 亘	11-73

11. 提言

新規事業と特許制度-新しく弁理士になられた方へ-	竹田逸郎 8-95
構築できるか知財立国日本	
-わが国知財立国の早期構築化に関する一考察-	唐木浄治 10-85
環境保全の理念と特許法の理念との調和についての模索	
-インカートリッジ事件を景気として-	増田 守 10-99

12. 報告

世界の大学発技術移転・産学連携の現状(4)	
-アメリカの事例その2- ~地域振興に関する視点から~	
東京大学先端科学技術研究センター	
西村由希子・高橋真木子・柘田祥子・玉井克哉	3-21
2005年日独弁理士交流会報告	国際活動センター欧州部 3-36
関東支部の設置準備の状況および今後の課題	
平成17年度日本弁理士会執行補佐役 関東支部設置準備担当 川久保新一	4-41
知的財産紛争の一回的, かつ全面的解決に向けて	
-調停・仲裁代理の実務研修報告-	小谷 悦司 5-60
日本弁理士会意匠委員会法制部会の活動報告	
-産業構造審議会 知的財産政策部会による平成17年12月付け「意匠制度の在り方について」の報告書(案)に対する意見書-	
平成17年度意匠委員会 法制部会	8-101

13. 考 察		
権利化前の発明を実施契約する際の問題点	中川信治	3-57
「一太郎」特許侵害事件 控訴審判決		
-特許法101条2号, 4号による間接侵害について-	梶野篤志	7-32
日米審査ハイウェイ試行プログラムの紹介と考察	大上 寛	9-77
化学発明は-技術的範囲について-どこまで「含有」できるか		
	光吉利之	11-27

14. コラム・その他

<知財ビジネスアカデミー 2005年度プレコースを終えて>		
知財ビジネスアカデミーによる融合系人材育成		
-新しい感覚の弁理士が育ち始めている-		
日本弁理士会アキバウィング運営委員会 委員長 笹島富二雄		4-87
知財ビジネス交渉学 (基礎)		
-交渉で 知財戦略 すべてパー-	受講生 的場成夫	4-90
-交渉学のススメ-		
受講生 久保行幸・中村正之・吉原拓也・渡邊佳子		4-93
授業法基礎: 大学で知財を教える人への必須科目		
-考え抜く力-	受講生 吉原 拓也	4-96
-学びの方法〜「授業法研修」に感取された「知の創造」〜		
	受講生 富沢知成	4-99
MOT初めの一步		
「技術経営基礎: 技術基盤企業の経営戦略」受講生 松本隆彦		5-96
「技術経営基礎: 技術基盤企業の経営戦略」に参加して		
「技術経営基礎: 技術基盤企業の経営戦略」受講生 金澤祐孝		5-98
「マーケティング基礎: 技術基盤企業のマーケティング戦略」受講の感想		
「マーケティング基礎 技術基盤企業のマーケティング戦略」受講生 小野 曜		5-100
「ケースブックで学ぶ米国特許プロセキュアション		
本コースで学んだこと		
「ケースブックで学ぶ米国特許プロセキュアション」受講者 森山 陽		6-99
「ケースブックで学ぶ米国特許プロセキュアション」講座を受講して		
「ケースブックで学ぶ米国特許プロセキュアション」受講者 里山雅也		6-101
米国民事訴訟の実務と知財リスク管理		
「米国民事訴訟の実務と知財リスク管理」受講生 海老原健		6-103

15. 挨拶

年頭所感	会長 佐藤辰彦	1-1
年頭所感	特許庁長官 中嶋 誠	1-2

就任のご挨拶		
-弁理士の本来業務を大切にしつつ, 明日へのロマンを持ち,		
弁理士としての社会的使命を果たそう-	会長 谷 義一	4-2
平成18年度正副会長会		4-4

16. 書籍紹介

『英和对訳 アメリカ著作権法とその実務』		
	安藤和宏・今村哲也 訳	1-76
『知的財産ライセンス契約の保護』 (財) 知的財産研究所 編		2-36
『デザイン, キャラクター, パブリシティの保護』 牛木理一 著		3-20
『ヨーロッパ特許条約・実務ハンドブック』 高岡亮一 著		7-62
『知的財産権法概論』	紋谷暢男 著	8-69
『世界知財戦略』	荒井寿光+カミール・イドリス 著	8-82
『天才エジソンの秘密』-母が教えた7つのルール-	ヘンリー幸田 著	9-44

17. お知らせ

平成18年度特許情報活用支援アドバイザーの採用予定について		1-表2
平成17年度弁理士試験本試験問題とその傾向		1-86
東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻知的		
財産インキュベーション戦略分野主催シンポジウム		2-表2
「第12回知的財産権紙上研究発表会」論文募集		2-表3, 3-表3
「知的財産推進計画2005」関連書籍のご紹介		3-表2
「判決要約」執筆者補充募集のお知らせ		4-45, 5-84
「地域ブランドの保護」パンフレット紹介		4-92
特許庁誌「中見舞い名刺交換のご案内		4-107, 5-107
商標キャラバン隊活動終了報告		4-表3
商標制度DVD「それいけ! やりくりカンパニー」のご案内		5-表2, 6-22
特許庁ニュース・レポート		5-102, 6-93
「判例研究会に関する座談会」参加者募集のお知らせ		6-表3
日本弁理士会 中央知的財産研究所 第4回公開フォーラムの開催予告		7-表2
知財ビジネスアカデミーのお知らせ		8-表2
12月号特集原稿募集のお知らせ		8-109, 9-79
企業の知財部への質問事項を大募集! 2007年2月号特集企画		8-109, 9-89
第12回・東京10士業 暮らしと事業のよろず相談会		9-表2
知的財産フォーラムin富山		10-表2
特許庁誌「謹賀新年名刺交換のご案内		10-107
山形県と知的財産活用協力協定を締結		11-表2
「平成18年度弁理士試験本試験問題とその傾向」選択科目の執筆者募集!		11-表3

ア行 月一頁

青木 修…………… 10-65
 青木 高…………… 11-56
 荒井寿光…………… 8-82
 浅野勝美…………… 7-75, 11-63
 安藤和宏…………… 1-76
 飯田幸郷…………… 8-51
 井口泰孝…………… 1-78
 池田和美…………… 12-5
 石井茂樹…………… 8-66・70
 和泉順一…………… 2-81
 板谷康夫…………… 1-48
 伊丹 勝…………… 9-1
 市橋俊一郎…………… 6-6
 市村直也…………… 1-39
 伊藤寛之…………… 10-104
 井上洋一…………… 7-78, 11-97
 今村哲也…………… 1-76
 岩上昇一…………… 6-3
 岩崎幸邦…………… 12-4
 上羽秀敏…………… 4-5
 牛木理一…………… 3-20, 10-35
 牛田利治…………… 2-29
 海老原健…………… 6-103
 大上 寛…………… 9-77
 大島 厚…………… 3-53
 岡田依里…………… 6-8
 岡田和喜…………… 12-4
 岡田淳平…………… 3-66, 6-105, 7-78
 岡戸昭佳…………… 2-83, 4-105
 岡部 譲…………… 6-23, 10-1
 小川真一…………… 7-1, 11-26
 小野 曜…………… 5-100
 小野寺隆…………… 1-64

カ行

柿内瑞絵…………… 12-21
 垣木晴彦…………… 10-104
 梶野篤志…………… 7-32
 勝見元博…………… 8-54
 加藤慎治…………… 2-69
 加藤 恒…………… 6-24
 加藤恒久…………… 3-68
 金澤祐孝…………… 5-98
 梶澤 襄…………… 6-3
 神谷恵理子…………… 3-27
 唐木浄治…………… 10-85
 川久保新一…………… 4-41
 川崎 仁…………… 1-20, 8-75

川島利和…………… 2-84
 川成靖夫…………… 12-6
 川原健児…………… 11-96
 木森有平…………… 11-24
 久保行幸…………… 4-93
 窪田英一郎…………… 2-82
 黒瀬雅志…………… 6-6
 黒田 壽…………… 8-83, 12-1
 河野 哲…………… 1-70
 河野 誠…………… 2-13
 河野泰一…………… 7-3
 幸田全弘…………… 3-1
 神戸真澄…………… 5-103, 9-91
 古関 宏…………… 10-50
 小谷悦司…………… 5-60, 12-35
 小西 恵…………… 1-19
 小林生央…………… 1-57

サ行

齊藤 整…………… 8-54
 才原慶道…………… 2-80
 寒江孝允…………… 3-61, 12-71
 佐久間光夫…………… 9-80
 笹島富二雄…………… 4-87
 佐藤辰彦…………… 1-1
 佐藤富徳…………… 2-3, 8-3
 里山雅也…………… 6-101
 佐伯 剛…………… 2-50
 塩川修治…………… 6-6
 柴田和雄…………… 6-70
 白濱秀二…………… 1-60
 下田 昭…………… 2-80, 4-103
 信太明夫…………… 3-67, 8-112, 9-90
 菅野 中…………… 5-85
 管 隆彦…………… 12-7
 杉本勝徳…………… 11-14
 杉本丈夫…………… 6-6
 鈴木公明…………… 6-14
 鈴木徳子…………… 1-67
 鈴木正次…………… 5-103
 鈴木康介…………… 7-42
 前 直美…………… 3-69, 4-105, 7-76
 曾々木太郎…………… 1-117
 園部武雄…………… 5-73

タ行

高岡亮一…………… 7-62

高瀬彌平…………… 2-83, 3-66, 4-68,
 5-104, 6-105, 7-44・76,
 ……………… 10-72, 11-45
 高橋祥泰…………… 5-1, 9-65
 高橋真木子…………… 3-21
 高林 龍…………… 1-71・76
 竹田逸郎…………… 8-95
 田中 勲…………… 10-3
 田中拓人…………… 4-102, 7-77, 9-91
 田中正治…………… 12-3
 田辺 徹…………… 4-46
 谷 義一…………… 4-2
 玉井克哉…………… 3-21, 9-45
 田村 正…………… 3-67, 4-102,
 5-104, 7-80, 11-96
 帖佐 隆…………… 5-77
 土井悦生…………… 9-41
 鶴本祥文…………… 3-69, 8-110, 12-29
 富沢知成…………… 4-99
 富田光治…………… 9-92

ナ行

内藤敏雄…………… 7-10
 永井 豊…………… 4-106, 5-106,
 6-106, 7-79
 永岡重幸…………… 3-42
 中川信治…………… 3-57
 中川裕幸…………… 12-8
 長沢幸男…………… 1-4
 仲 晃一…………… 3-14
 中嶋和昭…………… 2-25
 中嶋 誠…………… 1-2
 中隈誠一…………… 4-23
 中村知公…………… 10-105
 中村正之…………… 4-93
 中馬典嗣…………… 2-81, 7-79
 西村雅子…………… 5-31
 西村由希子…………… 3-21
 野中克彦…………… 11-82
 野中誠一…………… 1-118

ハ行

羽鳥 亘…………… 11-73
 伴 誠一…………… 1-117
 日野真美…………… 9-29
 平尾正樹…………… 8-47
 深澤 潔…………… 10-106
 福田雅美…………… 1-31
 藤岡隆浩…………… 3-42

藤芳寛治…………… 4-56
 ヘンリー幸田…………… 9-44
 穂坂道子…………… 2-79
 保科敏夫…………… 6-94
 細井貞行…………… 6-3

マ行

前田 均…………… 4-104, 5-105
 前田和男…………… 8-111
 牧 哲郎…………… 5-105
 榊田祥子…………… 3-21
 増田 守…………… 4-15, 10-99
 松井孝一…………… 2-16
 松田正道…………… 8-1, 12-41
 松本誠一郎…………… 8-111, 9-90
 松本隆彦…………… 5-96
 的場成夫…………… 4-90
 丸山温道…………… 1-24
 三上敬史…………… 4-103, 8-110
 三上真毅…………… 11-97
 光吉利之…………… 11-27
 峯 唯夫…………… 1-27
 宮嶋 学…………… 1-43
 三山峻司…………… 2-61
 村西大作…………… 7-17
 茂泉修司…………… 1-52
 森 收平…………… 12-29
 森 昌康…………… 9-18
 森山 陽…………… 6-99
 紋谷暢男…………… 8-69

ヤ・ラ・ワ行

八木秀人…………… 6-1, 10-64
 谷治和文…………… 1-78
 安瀬正敏…………… 11-98
 矢野敏樹…………… 3-61
 山内康伸…………… 2-4
 山口幸一…………… 2-53
 山本 厚…………… 10-4
 山本 尚…………… 4-104
 吉田伊知朗…………… 10-105
 吉田精孝…………… 2-1
 吉田豊麿…………… 6-3
 吉原拓也…………… 4-93・96
 若林 擴…………… 4-86, 7-43, 10-84
 綿貫隆夫…………… 11-19
 渡邊佳子…………… 4-93
 渡邊敬介…………… 7-27, 11-1
 渡辺弘司…………… 2-82, 3-68, 7-77

渡部 温…………… 7-63, 9-66

外国

Joseph L. Felber …… 2-69

Alex Verbin Chachkes …… 9-41

カミール・イドリス…… 8-82

曹 勇…………… 1-78

金 國鉉…………… 2-58

李 茂家…………… 8-85

魏 啓学…………… 8-85

劉 新宇…………… 8-85

程 永順…………… 12-63

劉 鋒…………… 12-63

委員会・団体

高知県庁海洋深層水対策室
…………… 2-38

東京大学大学院新領域創成
科学研究科…………… 3-3

国際活動センター 欧州部
…………… 3-36

不正競争防止法委員会第一
小委員会…………… 3-44

東京大学先端科学技術研究
センター…………… 3-21

ソフトウェア委員会 第1部会
…………… 4-30, 6-38

ソフトウェア委員会 第2部会
…………… 6-45

知的財産高等裁判所…… 5-3

平成17年度意匠委員会・業務
対応部会…………… 5-49

平成17年度意匠委員会・国際
部会…………… 7-29

平成17年度意匠委員会・法制
部会…………… 8-101

平成17年度産業競争力推進
委員会…………… 6-30

平成18年度商標委員会
…………… 8-4・19

平成18年度編集委員会
…………… 9-3, 10-17

秋田県学術国際部試験研究
推進課…………… 11-3

埼玉県産業労働部新産業
育成課…………… 11-6

愛知県産業労働部新産業課
…………… 11-10

From Editors

編集後記

早いものです。仕事に追われて、気付くともう12月です。事務所の近くのホテルには大きなツリーが飾られました。パテント編集委員になっての、初めてのパテント誌です。当初のんびり構えていたのが、最後になってドタバタしてしまい、特集の原稿をお願いした先生方には、大変ご迷惑をおかけしました。次回はもう少し予定を立てて取り組みたいと思います。

(Y. K)

短い執筆期間にもかかわらず、お忙しい中で執筆をお引き受けいただいた先生方には、本当に感謝します。本年度、初めてパテント誌の編集委員となり、このような貴重な原稿に対し、どのようなスタンスで査読に臨むべきなのか、迷いながらの査読作業となりました。

本号の特集は「周辺業務の実際」ですが、私を含め、日常の業務で接する機会の少ない方も多いのではないかと思います。いずれの原稿も興味深く拝読しましたが、なかでも「著作権法FAQ」では、著作権法の多岐に亘る保護対象、効力の規定ぶりなど特許法との違いが非常に新鮮でした。(purpleball)

今月号の特集は「周辺業務の実際」でした。「周辺業務」と聞けば、私などは普通の業務との関連性が薄く感じていたのですが、原稿を読み進めば進むほど、意外と普通の業務と関連しているのだなと思いました。今回、初めてパテント誌の編集

に携わり、「原稿の査読が大変だ」と聞いていたのですが、本号の特集は、その大変さを忘れるくらい内容の充実したものとなっているように感じました。

(K. Y)

今月号の特集は、「周辺業務の実際」です。

私事ではありますが、大学OBで組織した異業種土業の集まりで幹事をしております。近年、土業の規制緩和の話題がかまびすしく、他の土業の方々は、業務範囲拡大のせめぎあいでも戦々恐々としているようです。

一方、弁理士業界内では、年々、弁理士試験の合格者が増えており、「量」の問題が解決すれば、今後、益々、「質」の問題がクローズアップされてくると思われま。

従って、弁理士業界内外で、厳しい競争原理の波が押し寄せてくるのが予測されます。

さらに、この厳しい競争原理に追い討ちをかけるように、クライアント側からは、土業から提供されるサービスは出来る限り「ワンストップ」であることが要請されることも考えられます。

このような現状を鑑みるに、「周辺業務」にまったく無関心でいいわけがありません。

今回の特集を契機として、抽象的、総論的な把握に止めていた周辺業務について、具体的、各論的視点から業務に生かしていきたいと、自戒の念をこめて思う次第です。

(K. T)

次号予告【2007年1月号】

特集《知的財産価値評価》

新年1月号では、当会の知的財産価値評価推進センターが作成した「知的財産価値評価ガイドライン」を中心に知的財産の価値評価手法・その他について掲載いたします。皆様にとって非常に有意義なものになると確信しておりますので、どうぞご期待ください。